

稲生高校人権だより

令和2年5月
新学期スタート号

学校生活の再会は目前です。今回は、「新型コロナウイルスに負けない学校や社会」はどうやって作れるのか、考えてみます。

参考資料①

三重県人権教育課
「新型コロナウイルスに負けない!」



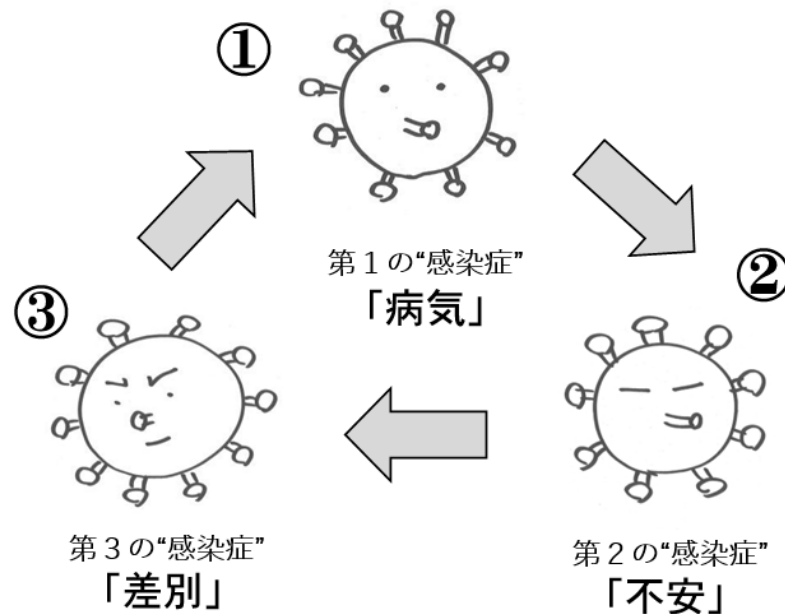
参考資料②

日本赤十字社「新型コロナウィルスの3つの顔を知ろう!」



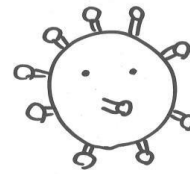
1. 新型コロナウイルスの3つの顔

現在、新型コロナウイルスによる感染症は、私たちの生活にすごく大きな影響を与えています。このウイルスが怖いのは「**3つの感染症**」という顔があるからだとされています。



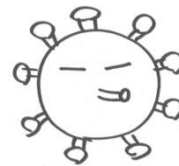
“3つの感染症”が“負のスパイラル”に…

①第1の感染症は、「病気」そのものです。



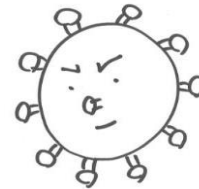
新型コロナウイルスが引き起こす**病気**は、感染した方との接触でうつることがわかっており、風邪の症状がでることがあります。さらに、重症化して肺炎を引き起こすこともあります。

②第2の感染症は、「不安」です。



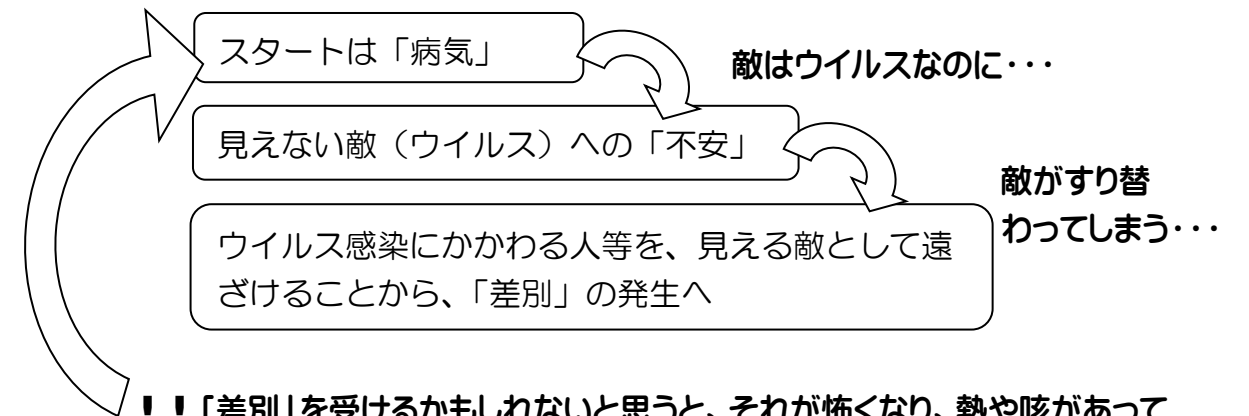
ウイルスが見えないこと、ワクチンや薬がまだ実用化されていないこと、まだまだわからないことが多いこと、こういったことから、私たちは**不安や恐れ**を感じ、振り回されます。

③第3の感染症は、「差別」です。



第2の感染症で紹介した「**不安や恐れ**」は、人間の生き延びようとする本能を刺激します。その本能が良くない方向にエスカレートすると、ウイルス感染にかかわる人や物事を自分から遠ざけ、差別をして、人と人の信頼関係や社会のつながりを壊してしまいます。

“3つの感染症”の“負のスパイラル”とは

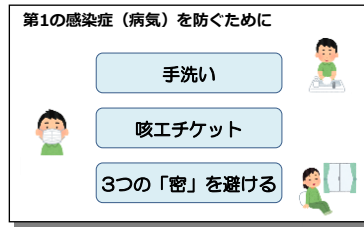


⇒裏面へつづく

2. 「3つの感染症」を防ぐために

このような負のスパイラルができてしまうところに、新型コロナウイルス感染症の怖さがあります。では、この3つの感染症を防ぐために、私たちはどのような工夫ができるでしょうか。

①第1の感染症、「病気」を防ぐために



すでに多くのみなさんが実践している、「手洗い」「咳エチケット」「3つの「密」を避ける」等を行い、感染予防を徹底することが大切です。詳しくは稲生高校のホームページから、「保健だより 2020年 No.1」を見てください。

②第2の感染症、「不安」を防ぐために

不安に振り回されないよう、次の3点を心がけましょう。



・「リラックスすること」

好きなことや楽しいことをしたり、ほっとする時間をつくったり、今の状況だからこそできることにチャレンジしてみたりと、心の安定につながることを探してみましよう。



・「体調を整えること」

体調が整っていないと、考え方も狭くなりがちで、不安を感じやすくなります。しっかり食べて、しっかり寝て、適度に運動をして、体調を整えましよう。



・「冷静な視点を持つこと」

不安を煽るような情報や、偏った情報ばかりに触れていると、不安はどんどん大きくなってしまいます。冷静な視点をもって、「さまざまな見方や意見を知ること」が大切です。また、国や三重県のホームページが提供する「正確な情報を得ること」も必要なことです。

③第3の感染症、「差別」を防ぐために

差別の発生を防ぐため、次の3点を心がけましよう。



・「情報が正しいかどうかを考えること」

間違った情報は、差別を広げたり、社会を混乱させたりします。「デマ」や「フェイクニュース」を見聞きしたことはありませんか？様々な情報に触れ、間違った情報を鵜呑みにしたり、拡散したりしないことが大切です。



・「差別的な言動に同調しないこと」

SNSなどで、もし「コロナの人は出ていってほしい」といった差別的な書き込みを見かけたら、あなたならどうしますか。「それはあかんよ。だってな・・・」と、負のスパイラルの説明をしたりしながら、止めることができる人になって欲しいと思います。たとえ止めることができなくても、まずは同調しないことが大切です。



・「多くの方がウイルスと戦っていることを知る」

医療従事者や、小さな子どもがいる家庭、高齢者、治療を受けている人とその家族、自宅待機する人、日常生活を送って社会を支えている人など、この事態に対応し、頑張っている人が大勢います。そういった全ての方方をねぎらい、敬意を払うことで「差別の流れ」を吹き飛ばしましよう。

◇まとめ◇

「新型コロナウイルスに負けない学校や社会」をつくるため…それぞれの立場でできることを行い、新型コロナの負のスパイラルを断ち切りましよう!

第3(差別)

